

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日時：令和4年6月7日（火）9：00～9：30

3. 場所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

志間安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住管理官補佐、小多係長、水野係員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括本部 奥田 本部長代理 他1名

原子力科学研究所 保安管理部 部長 他1名

同 臨界ホット試験技術部 技術副主幹

安全研究・防災支援部門 安全研究センター マネージャー

5. 要旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、ALPS 処理水分析に係る原子力科学研究所第4研究棟の核燃料物質使用許可申請について説明があった。

原子力規制庁からは以下の点を指摘した。

- ・使用場所として申請予定の205A号室は現在管理区域と設定しているが、貯蔵や廃棄のために使用しているのか。
- ・今回の申請は、ALPS 処理水の分析以外の案件とあわせて申請する予定はあるか。
- ・本件の審査担当となる使用班にこちらからも情報共有するが、行政相談において申請の詳細を説明するとともに、1F室にも情報共有すること。

これらに対し、機構から、以下の回答があった。

- ・205A号室は、過去に許可をとって核燃料物質を使用していたが、核燃料物質の使用予定はなくなったため、許可からも落としている。現在は、管理区域のみが設定されている。
- ・本件のみで申請する予定である。
- ・直接担当者に行政相談を申し入れ、説明するよう調整する。また、1F室には本日中に説明する予定である。

これらに対し、規制庁から、了解した旨回答した。

6. 配布資料

ALPS 処理水分析に係る原子力科学研究所第4研究棟の核燃料物質使用許可申請について

以上